

さいがい じ しょどうこうどう
災害時初動行動マニュアル
こう じ のう き のうしょうがいしゃ む
(高次脳機能障害者向け)

さいがい そのな さいがい お とき よ ほん
災害への備え・災害が起こった時に読む本

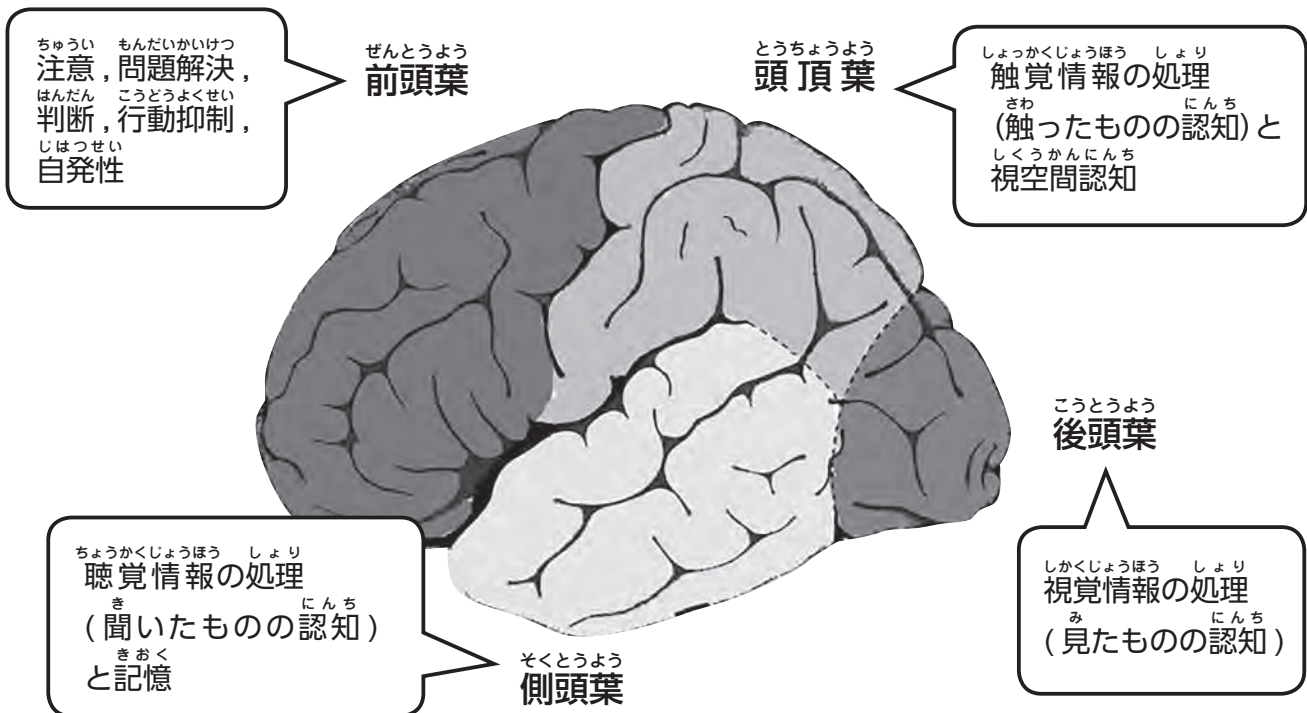


こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害とは…

びょうき つた こんなん ばあい
病気について伝えるのが困難な場合は、

かつよう
こちらのページを活用してください

こうじのうきのうしょうがい こうつうじこうとう とうぶ のうそちちゆう のう ぶぶんてき
高次脳機能障害とは、交通事故等による頭部のけがや脳卒中などで脳が部分的に
そんしょう う げんご きおく きのおう しょうがい お じょうたい い
損傷を受けたため、言語や記憶などの機能に障害が起きた状態のことを言います。
のう ばしょ い か ず しょうがい て かんが
また脳の場所によって以下の図のような障害が出ることが考えられています。



おも しょうじょう ● 主な症状として

- ・ コミュニケーションがとりにくい (失語症・注意障害等)
- ・ 身体の機能障害 (麻痺・視覚・聴覚等)
- ・ 段取りよく物事を進められない (遂行機能障害)
- ・ 新しいことを覚えにくい (記憶障害)
- ・ 図や表示の意味がよくわからない (地誌的障害)
- ・ 行動や感情のコントロールがきかない
- ・ 状況判断がしにくく、パニックになりやすい。

がいけん しゅうい りかい え い
外見ではわかりにくいため、周囲の理解が得られにくいと言われてい
ます。(詳細のお問い合わせ先: 東京都心身障害者福祉センター※ 1(P
10), 調布市障害福祉課 (裏表紙参照))

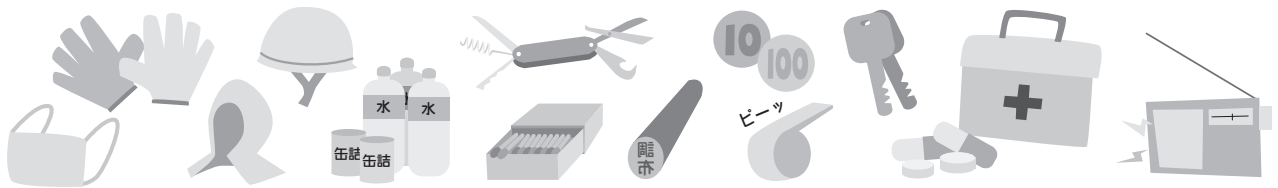


ひ そな 日ごろの備え

① 非常持ち出し品を用意しましょう。

<input type="checkbox"/> 非常食(乾パン・缶詰等)	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> 貴重品(通帳・印鑑等)
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> タオル(大小数枚)	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も少し)
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー
<input type="checkbox"/> 懐中電灯と予備の電池	<input type="checkbox"/> 上着・下着(多めに)	<input type="checkbox"/> 住民票のコピー
<input type="checkbox"/> ろうそく	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> お薬手帳・処方箋等
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん	<input type="checkbox"/> 救急医薬品・常備薬	<input type="checkbox"/> 障害者手帳のコピー
<input type="checkbox"/> 靴(避難用)	<input type="checkbox"/> いつものお薬	<input type="checkbox"/> 筆記用具
<input type="checkbox"/> 笛・ホイッスル	<input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り・栓抜き	<input type="checkbox"/> ヘルプカード・防災手帳
<input type="checkbox"/> スマートフォン(携帯電話)・時計・モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> ICレコーダー・メモ帳等(記憶を補助するもの)	<input type="checkbox"/> 電気を使わない暑さ・寒さ対策品

- ・持ち出し品リストを作り、一緒に保管しておきましょう。
- ・必要に応じてその他の物も用意しましょう。

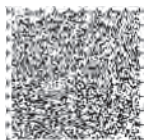


調布市では対象の方に救急医療情報キット※2(P10)をお渡ししております。

災害時以外にも緊急時に必要となる情報等を用意し、保管できる物です。

◎ 中に入れて置くと役立つもの

- ・健康保険証、障害者手帳のコピー
- ・お薬手帳、処方箋のコピー
- ・いつものお薬(新しい物)
- ・緊急連絡先のメモ等



※の注釈は巻末に詳細があります。

② 周囲の人に支援を求める ヘルプカード等を持ちましょう。

● ヘルプカード (問い合わせ先：調布市障害福祉課 (裏表紙参照))

障害のある人には自ら「困った」と伝えられない人がいます。手助けが必要なのに「困っていることを伝えられない人」「困っていることを自覚できない人」もいます。「ヘルプカード」は障害のある人が普段から身に付けていることで、緊急時や災害時、困った際に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。



事前に氏名、生年月日、住所、避難場所などを記入しておきましょう。

● 防災手帳※3 (P 11)

調布市では災害時に避難する際のポイントやおうきゆうてあてなど、こうどうようりょう、けいさい、ぼうさいてちょう、はいふ、応急手当等の行動要領を掲載した防災手帳を配布しています。



事前に氏名、生年月日、住所、避難場所などを記入

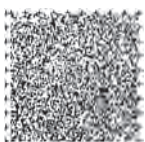
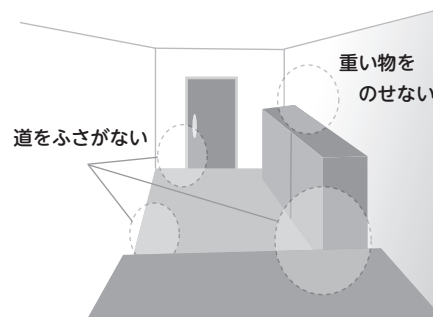
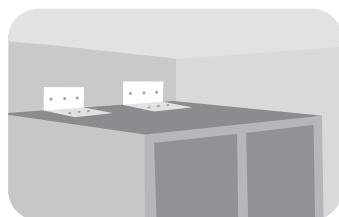
しておきましょう。

③ 自宅などの出入口への経路や家の中の安全を見直しましょう。

● 家や職場では、出入口への通路を整理整頓し、避難経路を確保しましょう。

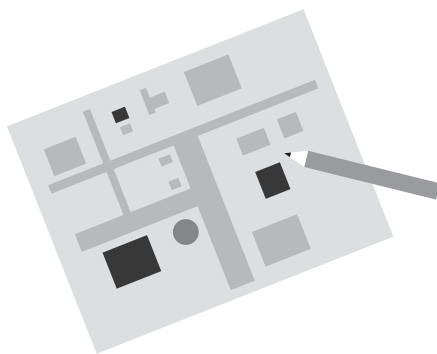
● 家の中の安全を確保しましょう。

- ・ タンスや食器棚等の大きな家具や家電を転倒防止器具で固定する。
- ・ ガラスに飛散防止フィルムを貼る。
- ・ 戸棚の扉にストッパーを付ける。
- ・ 重いものを高い場所に置かない。



④ 避難先と避難経路を確認しましょう。

- ご家族や支援者と自宅の近隣や通勤・通所経路にある避難場所・避難所 (P14.15) を確認し、避難地図を作成し実際に行ってみましょう。
- 災害時に倒れるおそれのある電柱や建物などをなるべく避けた経路を設定しておきましょう。
- ご家族との連絡方法や集合場所を確認しましょう。
- 各社携帯電話やインターネットなどの災害用伝言板サービスを活用しましょう。(毎月1日、15日など体験日があります。)
- 水害にも備え、洪水ハザードマップを確認して、自分が住んでいる地域の避難する所や避難行動を確認しておきましょう。
(問い合わせ先：調布市総合防災安全課 (P11))



⑤ 地域とのつながりを持ちましょう。

- 地域の活動や防災訓練に参加しましょう。
- 市内の相談支援機関※ 4 (P 11.12) を活用しましょう。
- 日頃からお住まいの地域で交流があると、いざというときに周囲から協力をしてもらえるなど安心です。あらかじめ近隣の方に支援が必要なことを伝えておきましょう。

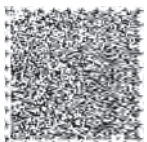


じょうほうていきょう じょうほうしゅうしゅうほうほう かくにん
⑥ 情報提供・情報収集方法を確認しましょう。

- ちょうふしさいがいようしえんしゃだいちょう とうろく
調布市災害要支援者台帳※ 5 (P 12) に登録しましょう。
- ちょうふしひなんこうどうようしえんしゃめいぼ とうろく
調布市避難行動要支援者名簿※ 6 (P 13) に登録しましょう。
- とうきょうしょうぼうちよう きんきゅう つうほう とうろく
東京消防庁の緊急ネット通報※ 7 (P 13) に登録しましょう。
- ちょうふしぼうさい あんぜんじょうほう ようじぜんとうろく きんきゅうそくほう
調布市防災・安全情報メール (要事前登録) ※ 8 (P 13), 緊急速報メール,
ちょうふしこうしき かくにん
調布市公式ホームページ, ツイッターを確認しましょう。

じぜん か つ びょういん そうだん
⑦ 事前に掛かり付けの病院で相談しておきましょう。

- じぶん びょうき ふくよう くすり ないよう ふだん か
自分の病気のことやいつも服用している薬の内容について, 普段から掛かり
つけのいし そうだん くすりてちょう けいたい
付けの医師とよく相談しておき, お薬手帳を携帯しましょう。
- がっぺいしょう さいがいじ きんきゅうじ しょうじょう あっか かた あっかじ
合併症があり, 災害時や緊急時に症状が悪化するおそれのある方は, 悪化時
たいおう か つ いし そうだん
の対応についても掛かり付けの医師と相談しておきましょう。



さいがい じしん お 災害(地震)が起きたら

いえ なか ◎ 家の中では・・・

- 自分の体を守りましょう。
- スリッパや靴を履いて足を保護し、戸・窓を開け出口を確保します。
- 家族の安全を確認し、非常持ち出し品を手元に置きます。
 - ・あわてて外に出ず、状況を確認してから行動しましょう。
 - ・取り出せない場合は無理をせず、そのまま避難しましょう。
- 揺れがおさまったら、落ち着いて火を消します。
- 身動きができないときには、緊急用ホイッスルやブザーを鳴らす、物を叩くなど音を出して周囲に知らせましょう。
- 避難場所・避難所に移動するときは周囲の人に支援を求めましょう。



がいしゅつさき ◎ 外出先では・・・

- 通所先や職場では、通所先の職員や職場の方の指示に従いましょう。
- 自動販売機、建物の壁ぎわや塀ぎわから離れましょう。
- ヘルプカード等を活用して、周囲の人に声をかけ安全な場所へ誘導してもらいましょう。
- 内部障害の方は、外見からは判断ができないことが多いので、自分からすすんで周囲の人に支援を依頼しましょう。体力の消耗を防ぐために、ゆっくりと支援を待ちましょう。
- 電車やバスが運休しても、あわてて帰宅せず「一時滞在施設」等の安全な場所に誘導してもらい、落ち着いてから、ご家族や支援者に連絡を取りましょう。



◎ 水害時では・・・

- ・ 台風は通り過ぎるのを待ちましょう。台風接近時に外にいた場合は、近くの施設で通り過ぎるのを待ち、自宅にいる場合は外出を控えます。屋根や窓の補修のために外へ出るのも危険です。
- ・ 浸水時の歩行可能な水位の目安は、ひざ下までです。また、水位が低くても水の勢いで動けなくなる危険性があるので、水が流れてきたら高所へ早急に避難します。
- ・ 火災予防のため、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。
- ・ 万が一逃げ遅れた場合は、3階以上の丈夫な建物に避難しましょう。
- ・ 調布市防災・安全情報メール（要事前登録）から避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示等の情報が配信されますので参考にしましょう。これらの情報が配信されていなくても、身の危険を感じる場合は状況に応じ、避難を開始しましょう。



ひなんじょ 避難所では

- 避難所についたら、受付を行います（安否確認にもなります）。
- てんかん発作のある方は、頻度や対応の仕方について必ず避難所の責任者やスタッフに伝えておきましょう。
- 個室や少人数の部屋に居場所を作れるか、避難所のスタッフに相談してみましよう。但し、避難所の状況によって、必ずできる訳ではありません。
- 居場所が確保できたら、十分に休息を取りましよう。
- 自分の居場所が覚えられなかったり、迷ってしまう場合は、避難所のスタッフに相談し、位置関係がわかりやすい壁際や角に場所を確保してもらいましよう。（非常持ち出し品の中に目立つ柄や色のレジャーシート等、目印になるものを入れておくのも良いでしょう。）
- ご家族や支援者とあらかじめ決めておいた避難所と異なる場合、状況が落ち着いたら、予定していた避難所に「名前」「現在の避難場所」「自分の居場所を伝えたい家族・支援者の名前」を連絡しましよう。うまく伝えられないときはスタッフに相談しましよう。
- 毎日服用している薬は必ず忘れずに飲みましよう。
- 自分の薬を持っても、どの薬をいつ飲んでよいか、わからなくなってしまうときは、早めに家族や救護所等に相談しましよう。
- 放送や掲示板の内容が分からない時は、ヘルプカード等を活用し、周囲の人に内容をメモに書いてもらい、説明をお願いしましよう。
- 周囲の音などが気になり落ち着かない場合は、耳栓やアイマスク等を利用したり、静かな場所に移動しましよう。
- 体調が悪いときには、がまんをせずにスタッフに相談しましよう。
- 水分を十分にとり、できる範囲で体を動かしましよう。
- 避難所の生活の中で、自分や家族にできる役割を見出し、出来るだけ協力しましよう。



ちゅうしゃくいちらん 注 釈 一 覧

※ 1. **東京都心身障害者福祉センター 高次脳機能障害専用窓口**
とうきょうとしんしんしょうがいしゃふくし こうじのうきのうしょうがいせんようまどぐち
こうじのうきのうしょうがいしえんふきゅうじぎょう しえんきょてん こうじのうきのうしょうがい かた
 高次脳機能障害支援普及事業の支援拠点として高次脳機能障害のある方への
そうだん しえんなど おこな
 相談・支援等を行っております。

じゅうしょ とうきょうとしんじゅくかくらがし ばん ごう
 住所：〒163-8001 東京都新宿区神楽河岸1番1号
じかん ごぜん じ じ ごご じ じ どよう にちよう しゅくさいじつていきゅう
 時間：午前9時から12時と午後1時から4時まで（土曜・日曜・祝祭日定休）
せんようてんわ
 専用電話：03-3235-2955
 FAX：03-3235-2957

※ 2. **救急医療情報キット**
きゅうきゅういりょうじょうほう
きんきゅうじ ひつよう ほんにん いりょうじょうほう きんきゅうれんらくさき くすりなど い れいぞうこ ほかん
 緊急時に必要となる本人の医療情報や緊急連絡先、薬等を入れ、冷蔵庫に保管し
つつじょう ようき じたく きんきゅうじ さいがいじ きゅうきゅうたいいん なか じょうほう
 ておく筒状の容器です。自宅で緊急時や災害時に救急隊員などがキットの中の情報
かくにん すみ いりょうかつどう がいとう かた
 を確認し速やかな医療活動につなげることができます。①または②に該当する方に
くば
 お配りしております。

◎ 対象者

① **市内に住所を有する在宅の65歳未満で次の手帳をどれか1つでもお持ちの方**

- しんたいしょうがいしゃてちょう も きゅう きゅう かた
 身体障害者手帳をお持ちで、1級から3級の方
- せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう も きゅう きゅう かた
 精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、1級から2級の方
- あい てちょう も かた
 愛の手帳をお持ちの方

と あ さき ちょうふし しょうがいふくしか うらびょうしさんしょう
 問い合わせ先：調布市 障害福祉課（裏表紙参照）



② **市内に住所を有する在宅の65歳以上の方**

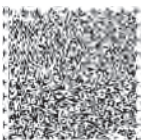
と あ さき ちょうふし こうれいしゃしえんしつこうれいふくしたんとう
 問い合わせ先：調布市 高齢者支援室高齢福祉担当

じかん ごぜん じ ふん ごご じ ふん
 時間：午前8時30分から午後5時15分まで
どよう にちよう しゅくさいじつていきゅう
 （土曜・日曜・祝祭日定休）

てんわ
 電話：042-481-7150

FAX：042-481-4288

E-mail：kourei@w2.city.chofu.tokyo.jp



ぼうさいてちょう
※ 3. 防災手帳

きんきゅうじ れんらくさき いなど じょうほう きさい
 緊急時の連絡先やかかりつけ医等の情報を記載できるス
 ペースを設けています。「書き込む」という作業を通して、ご
 自身の防災情報の整理・再確認に役立ててください。

と あ さき ちょうふし そうごう ぼうさい あんぜん か
 問い合わせ先：調布市総合防災安全課

じかん ごぜん じ ぶん ごご じ ぶん
 時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで
 (土曜・日曜・祝祭日定休)

でんわ
 電話：042-481-7346

FAX：042-481-7255

E-mail：bousai@w2.city.chofu.tokyo.jp

はいふばしよ とうきょうとちょうふしこじまちょう
 配布場所：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1

- ▶ ぶんかかいかん にしかん かい そうごう ぼうさい あんぜん か
 文化会館たづくり 西館 3 階 総合防災安全課
- ▶ ちょうふし やくしょ ほんちょうしゃ かい しょうがい ふくしか かい ふくし そうむか
 調布市役所本庁舎 2 階 障害福祉課・3 階 福祉総務課
- ▶ そうごう ふくし かい かい ちょうふし こじまちょう
 総合福祉センター 1 階・2 階 (調布市小島町 2-47-1)

しない そうだんし えんきかん
※ 4. 市内の相談支援機関

しょうがいしゃちいきか つどうし えん
・ 障害者地域活動支援センター「ドルチェ」

こうじのうきのうしょうがいしゃせんよう まどぐち かぞく こべつ そうだん おう てきせつ
 高次脳機能障害者専用の窓口があり、その家族からの個別の相談に応じ適切な
 しどう じょせん おこな じょうほうていきょう おこな まいつきだい げつようび
 指導や助言を行うとともに、情報提供を行っております。また、毎月第 4 月曜日
 ごぜん じ ごご じ じゃくねん こうじのうきのうしょうがいしゃ かつどう ば
 午前 10 時から午後 3 時に若年の高次脳機能障害者の活動の場もあります。

じゅうしよ ちょうふしこじまちょう
 住所：〒182-0026 調布市小島町 2-47-1

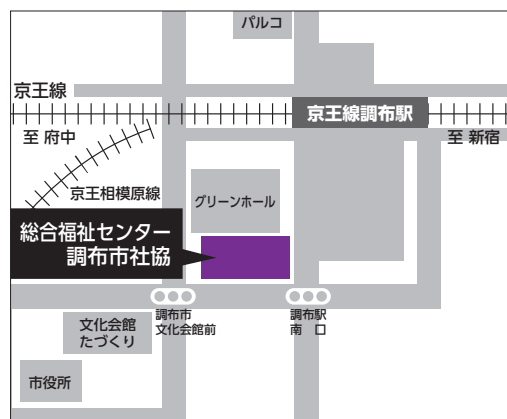
そうごう ふくし ない かい
 総合福祉センター内 4 階

じかん ごぜん じ ごご じ
 時間：午前 9 時から午後 5 時まで
 土曜・日曜・祝祭日定休

でんわ ちよくつう
 電話：042-490-6675 (直通)

FAX：042-444-6606

E-mail：dolce@ccsw.or.jp



ちょうふし こ はったつ
・調布市子ども発達センター

お子さんの発達のことこ はったつで心配や不安しんばい ふあんがありましたら、お気軽きがるにご相談そうだんください。

住所じゅうしょ：〒182-0032 調布市西町290-49 ちょうふしにしまち

時間じかん：午前10時から午後4時までごぜん じ ごご じ（土曜・日曜・祝祭日定休どよう にちよう しゅくさいじつていきゅう）

電話でんわ：042-486-1190（ご相談は予約制です。） そうだん ややくせい

FAX：042-486-3147

E-mail：ayumi@w2.city.chofu.tokyo.jp



ちょうふしさいがいようしえんしゃだいちょう
※ 5. 調布市災害要支援者台帳

調布市では災害時ちょうふしに支援さいがいじを要しえんすると見込まれる方々ようを把握みこし、迅速かたがたな支援はあくに役立じんそくてるために、この台帳しえんを作成やくだしています。だいちょう さくせい

◎対象者

- ① 身体障害者手帳しんたいしょうがいしゃてちょうをお持ちもで、1級きゅうから3級きゅうの方かた
- ② 精神障害者保健福祉手帳せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょうをお持ちもで、1級きゅうから2級きゅうの方かた
- ③ 愛あいの手帳てちょうをお持ちもの方かた

上記①～③のいずれかじょうきをお持ちもの方かたで市内在住しないざいじゅうの方が対象かたになります。たいしょう

問い合わせ先とあ：調布市障害福祉課さき（裏表紙参照ちょうふししょうがいふくしか）うらびょうしさんしょう



ちようふしひなんこうどうようしえんしゃめいぼ
※ 6. 調布市避難行動要支援者名簿

ちようふし さいがいたいさくきほんほうおよ ちようふしちいきぼうさいけいかく もと こうれいしゃ しょうがいしゃ
調布市では、災害対策基本法及び調布市地域防災計画に基づき、高齢者や障害者
など さいがいじ しえん ひつよう かた めいぼ さくせい どうい え かた めいぼじよう
等の災害時に支援が必要な方の名簿を作成しています。同意を得られた方の名簿情
ほう
報については、避難支援等関係者（調布警察署・調布消防署・民生委員等）に提供
します。

と あ さき ちようふしふくしそくむか
問い合わせ先：調布市福祉総務課

じかん ごぜん じ ふん ごご じ ふん とうよう にちよう しゆくさいじつていきゅう
時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで（土曜・日曜・祝祭日定休）

でんわ
電話：042-481-7101・7102

FAX：042-481-7058

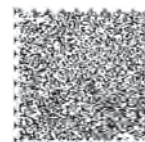
E-mail：fukusou@w2.city.chofu.tokyo.jp

きんきゅう つうほう とうきょうしょうぼうちよう
※ 7. 緊急ネット通報（東京消防庁）

おんせい にくせい ばんつうほう こんなん ちようかくしょうがいしゃなど きんきゅうつうほう おこな ほじょしゅ
音声（肉声）による 119 番通報が困難な聴覚障害者等が緊急通報を行う補助手
だん けいたいでんわおよ きのう りよう とうきょうしょうぼうちよう きん
段として、携帯電話及びスマートフォンからウェブ機能を利用して東京消防庁に緊
きゅうつうほう かさい きゅうきゅう つうほう おこな しょうぼうしゃ きゅうきゅうしゃ ようせい
急通報（火災や救急などの通報）を行い、消防車や救急車の要請ができるものです。
とうろくよう から そうしん
登録用 E メールアドレス entry_13000@entry03.web119.info に空メールを送信
していただき、じどうへんそう とうろく ようじぜんとうろく
自動返信される E メールからご登録ください。要事前登録。

ちようふしぼうさい あんぜんじようほう
※ 8. 調布市防災・安全情報メール

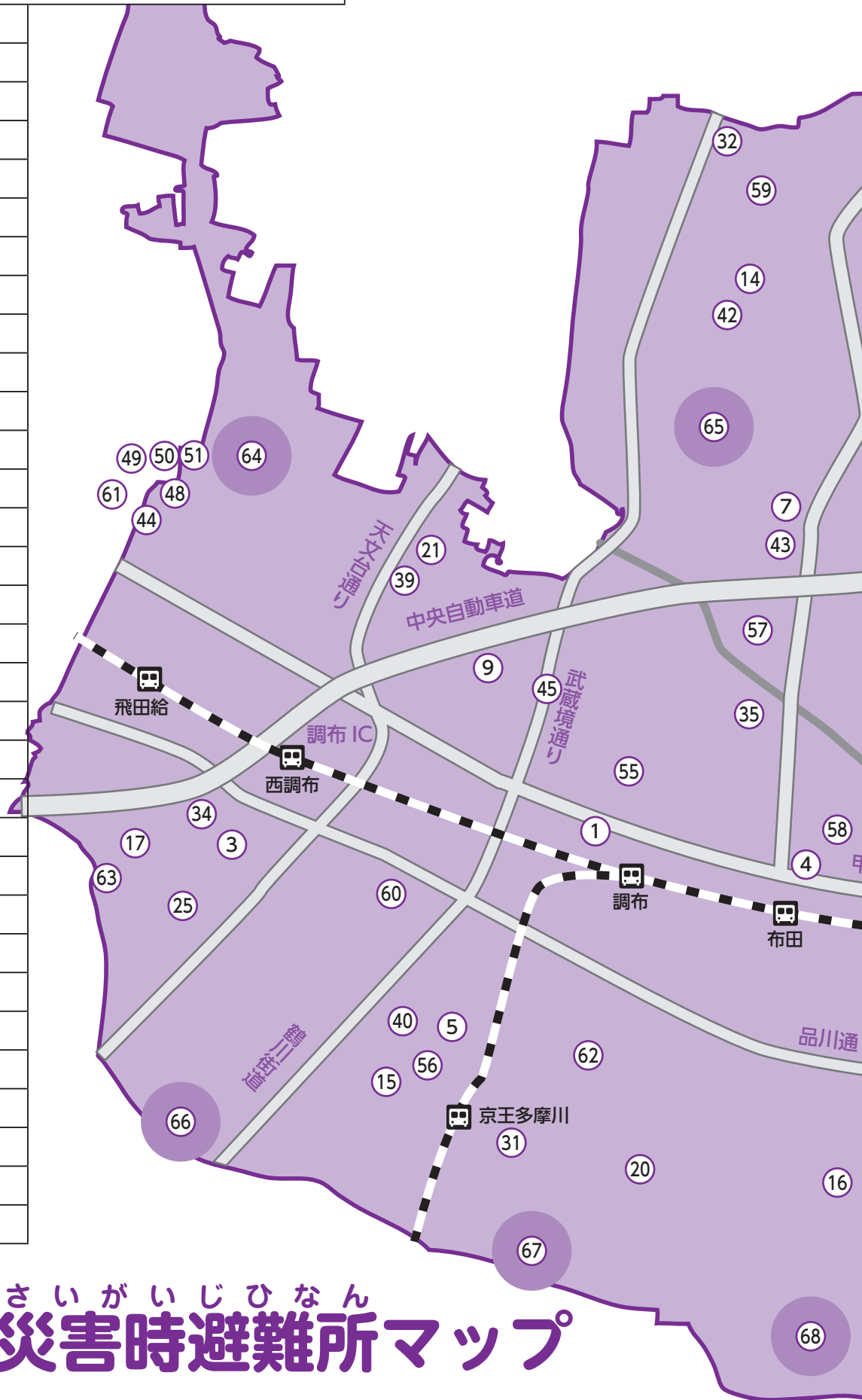
ちようふしぼうさい あんぜんじようほう し きんきゅうじようほう じしんじようほう ちようふししんど
「調布市防災・安全情報メール」は、市からの緊急情報や地震情報（調布市震度 3
いじよう きしやうじようほう とくべつけいほう けいほう ちゆういほう さいがいじようほう こくみんほごじようほう ぼうはんじようほう
以上）、気象情報（特別警報、警報、注意報）、災害情報、国民保護情報、防犯情報
はいしん けいたいでんわ かた とうろくよう
などを配信します。携帯電話の方は、登録用 E メールアドレス c-bousai@sg-m.jp
から そうしん じどうへんしん とうろく よう
に空メールを送信していただき、自動返信される E メールからご登録ください。要
じぜんとうろく と あ さき ちようふしそくごうぼうさいあんぜんか
事前登録。（問い合わせ先：調布市総合防災安全課（P11））



いちじひなんじよ
一次避難所

大地震等による家屋の倒壊、焼失などで被害を受けた方や、被害を受ける恐れのある方を一時的に受け入れ、保護するために開設する学校等の公共施設。

1	だいいちしょうがっこう 第一小学校
2	だいにしょうがっこう 第二小学校
3	だいさんしょうがっこう 第三小学校
4	やくもだいしょうがっこう 八雲台小学校
5	ふじみだいしょうがっこう 富士見台小学校
6	たきさかしょうがっこう 滝坂小学校
7	じんだいじしょうがっこう 深大寺小学校
8	うえのはらしょうがっこう 上ノ原小学校
9	いしわらしょうがっこう 石原小学校
10	わかばしょうがっこう 若葉小学校
11	ちょうわしょうがっこう 調和小学校
12	みどりがおかしょうがっこう 緑ヶ丘小学校
13	そめちしょうがっこう 染地小学校
14	きたのだいしょうがっこう 北ノ台小学校
15	たまがわしょうがっこう 多摩川小学校
16	すぎもりしょうがっこう 杉森小学校
17	とびたきゅうしょうがっこう 飛田給小学校
18	かしのしょうがっこう 柏野小学校
19	こくりょうしょうがっこう 国領小学校
20	ふだしょうがっこう 布田小学校
21	ちょうふちゅうがっこう 調布中学校
22	じんだいちゅうがっこう 神代中学校
23	だいさんちゅうがっこう 第三中学校
24	だいよんちゅうがっこう 第四中学校
25	だいでちゅうがっこう 第五中学校
26	だいろくちゅうがっこう 第六中学校
27	だいななちゅうがっこう 第七中学校
28	だいはちちゅうがっこう 第八中学校
29	おおまち しせつ 大町スポーツ施設
30	とりつじんたいこうこう 都立神代高校
31	とりつちょうふみなみこうこう 都立調布南高校
32	とりつちょうふきたこうこう 都立調布北高校



さいがいじひなん
災害時避難所マップ

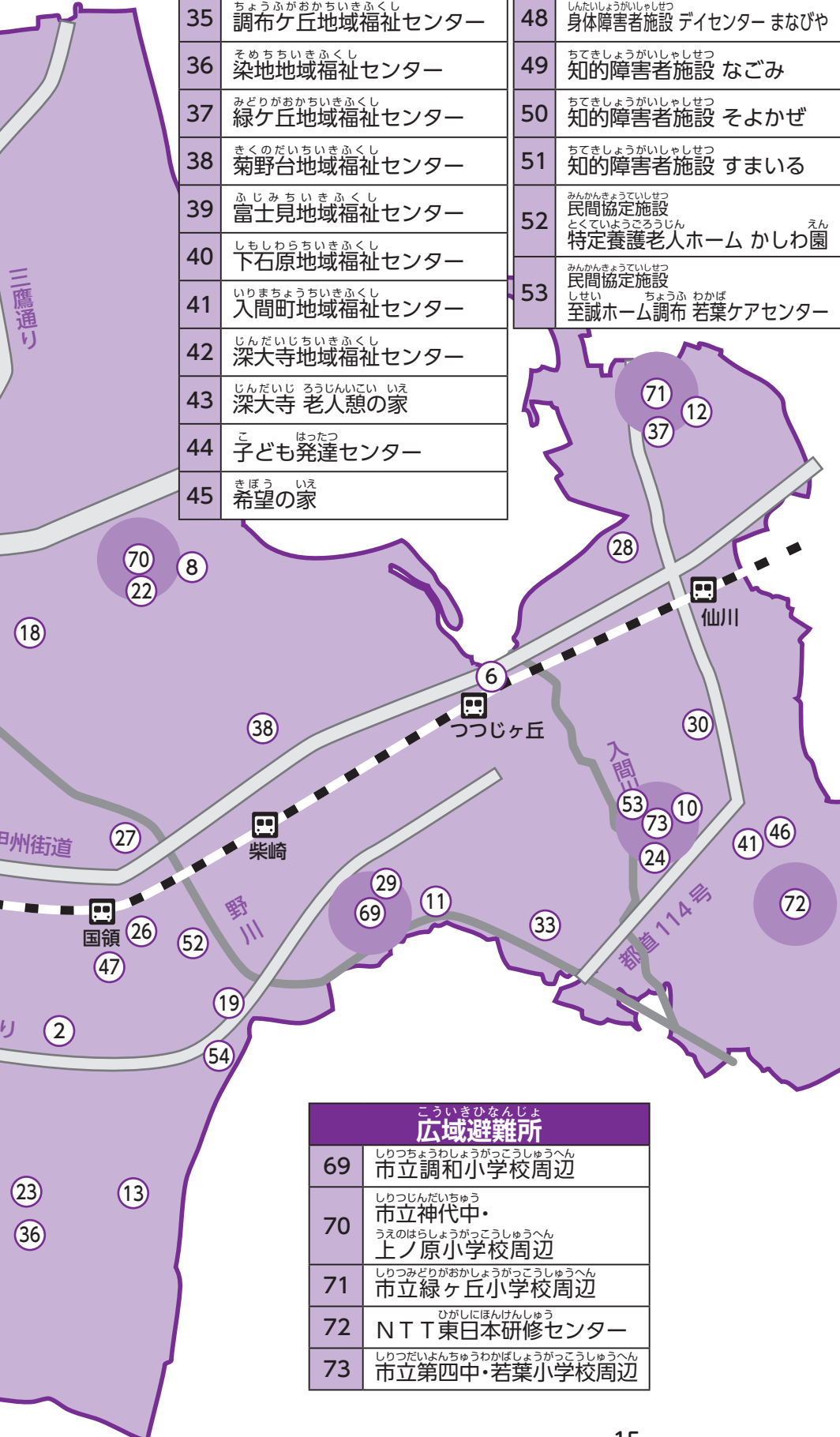
にじひなんじょ ふくしひなんじょ
二次避難所 (福祉避難所)

ひなんじょなど せいかつ ごんなん しょうがいしゃ こうれいしゃ ようほりりょしゃ ひなんばしよ ちいきふくし およ ちゅうじんこい いえなど こうちやうし
避難所等での生活が困難な障害者や高齢者などの要配慮者のための避難場所で、地域福祉センター及び老人憩の家等の公共施
設。災害発生直後は、要配慮者においても、まず一次避難所で受け入れを行い、状況に応じて二次避難所の開設を行います。なお、
二次避難所の開設は発災から概ね3日後となります。

33	かねこちいきふくし 金子地域福祉センター
34	せいぶちいきふくし 西部地域福祉センター
35	ちやうふがおかちいきふくし 調布ヶ丘地域福祉センター
36	そめちちいきふくし 染地地域福祉センター
37	みどりがおかちいきふくし 緑ヶ丘地域福祉センター
38	きくのだいちいきふくし 菊野台地域福祉センター
39	ふじみちいきふくし 富士見地域福祉センター
40	しもしわらちいきふくし 下石原地域福祉センター
41	いりまちやうちいきふくし 入間町地域福祉センター
42	じんだいじちいきふくし 深大寺地域福祉センター
43	じんだいじ ろうじんこい いえ 深大寺 老人憩の家
44	こ ほんたつ 子ども発達センター
45	きぼう いえ 希望の家

46	きぼう いえふんじやう 希望の家分場
47	こ かにていせん 子ども家庭支援センターすこやか
48	しんたいしやうがいしやせつ 身体障害者施設 デイセンターまなびや
49	ちてきしやうがいしやせつ 知的障害者施設 なごみ
50	ちてきしやうがいしやせつ 知的障害者施設 そよかぜ
51	ちてきしやうがいしやせつ 知的障害者施設 すまいる
52	みんかんきやうていしせつ 民間協定施設 とくべつやうごろうじん 特定養護老人ホーム かしわ園
53	みんかんきやうていしせつ 民間協定施設 しせい ちやうふ わかば 至誠ホーム調布 若葉ケアセンター

54	みんかんきやうていしせつ 民間協定施設 とくべつやうごろうじん 特定養護老人ホーム ときわぎ国領
55	とうきやうとりつちやうふとくべつしえんがっこう 東京都立調布特別支援学校
56	あさひでちやうふふくしきぎやうしよ 旭出調布福祉作業所
57	みんかんきやうていしせつ 民間協定施設 とくべつやうごろうじん 特別養護老人ホーム らくえん深大寺
58	みんかんきやうていしせつ 民間協定施設 とくべつやうごろうじん 特別養護老人ホーム 調布八雲苑
59	みんかんきやうていしせつ 民間協定施設 しょうきぼとくべつやうごろうじん 小規模特別養護老人ホーム 神代の杜
60	みんかんきやうていしせつ 民間協定施設 とくべつやうごろうじん 特別養護老人ホーム ちやうふ花園
61	とくべつやうごろうじん 特別養護老人ホーム ちやうふの里
62	ちやうふし けんこうしえん 調布市こころの健康支援センター
63	とくべつやうごろうじん 特別養護老人ホーム 爽爽荘



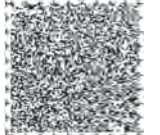
こういきひなんじょ
広域避難所

だいじんじに はっせい えんしょうかさい た
大地震時に発生する延焼火災やその他
の危険から避難者の生命を保護するため
に必要な面積を有する大規模公園、緑地
などのオープンスペース。

64	ちやうふきちあとちやうんどうひろばおよ 調布基地跡地運動広場及び おおさわそうごう 大沢総合グラウンド一部
65	とりつじんたいしよくぶつこうえんしゅうへんおよ 都立神代植物公園周辺及び じゅうひろば 自由広場
66	たまがわかせんじき だい1 くしゅうへん 多摩川河川敷(第1区)周辺 (府中市境~多摩川原橋)
67	たまがわかせんじき だい2 くしゅうへん 多摩川河川敷(第2区)周辺 (多摩川原橋~二ヶ領堰)
68	たまがわかせんじき だい3 くしゅうへん 多摩川河川敷(第3区)周辺 (二ヶ領堰~狛江市境)

こういきひなんじょ
広域避難所

69	しりつちやうわしやうがっこうしゅうへん 市立調和小学校周辺
70	しりつじんたいちゅう 市立神代中・ うえのほらしやうがっこうしゅうへん 上ノ原小学校周辺
71	しりつみどりがおかしやうがっこうしゅうへん 市立緑ヶ丘小学校周辺
72	ひがしにほんけんしゅう NTT東日本研修センター
73	しりつだいやんちゅうわかばしやうがっこうしゅうへん 市立第四中・若葉小学校周辺





登録番号（刊行物番号）

2018-251

災害時初動行動マニュアル（高次脳機能障害者向け）

発行日 平成31年3月

発行 調布市

編集 福祉健康部障害福祉課

〒182-8511 調布市小島町 2-35-1

TEL 042-481-7089・7094・7135

FAX 042-481-4288

E-mail : syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp

協力 NPO法人 高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム

東京レインボー倶楽部

社のハーモニー♪

印刷 株式会社 内田平和堂

